

平成27年度行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療関係者問題調査検討会等経費			担当部局庁	医政局	作成責任者		
事業開始年度	昭和63年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医事課、看護課、歯科保健課	課長：渡辺 真俊		
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-2-2 医療従事者の資質の向上を図ること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	効果的な臨床研修の検討や医療関係者問題についての検討、その他医師等の再教育を行い、質の向上を目的とする。(①医師研修研究経費 ②医療関係者問題調査検討会費 ③外国人医師等臨床修練認定経費 ④医師等資質向上対策費 ⑤特定行為に係る努力義務ガイドライン策定検討会費 ⑥看護職員の需給見直しに関する検討会(8次) ⑦医師等の再教育研修の在り方に関する検討会)							
事業概要(5行程度以内。別添可)	①医師研修研究経費 臨床研修指導医が研修医を指導する上で、より効果的な教育訓練の技法を開発し、普及させるための検討を行う。 ②医療関係者問題調査検討会費 良質で効率的な医療を確保するために必要な医療関係者に関する検討会を開催する。 ③外国人医師等臨床修練認定経費 我が国の医師等の資格を有しない外国医師等が医療技術を修得するために、その研修に必要な範囲内において、医療行為の認定を行う。 ④医師等資質向上対策費 行政処分を受けた医師等の再教育を行う。 ⑤特定行為に係る努力義務ガイドライン策定検討会費 指定研修の受講が義務づけられない、特定行為を行う看護師に対する院内研修ガイドラインの策定のための検討を行う。 ⑥看護職員の需給見直しに関する検討会(8次) 第8次看護需給見直しについての検討会を立ち上げ、今後の需給見直しについて検討するとともに、各都道府県に対して就業状況の実態について調査集計分析作業を委託し、今後の需給数や供給数についての推計を行う。 ⑦医師等の再教育研修の在り方に関する検討会 医師等の再教育研修の問題点等について整理検証を行う。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	58	38	118	30	118	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-	-
		計	58	38	118	30	118	
	執行額	39	18	10				
	執行率(%)	67%	47%	8%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度	
			-	-	-	-	-	
	目標値	-	-	-	-	-		
	達成度	%	-	-	-	-		
定量的な成果目標が設定できない理由	定量的な成果目標が設定できない理由							
	定性的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績							
定性的な成果目標	検討会はその検討結果を政策などに反映させることを目的としているものでもあり、検討会それ自体によって直接何らかの結果が出るものではないこと、また、複数年度にわたって開催される場合もある事から、定量的な目標設定にはなじまないため。							
	必要に応じ検討会等を開催し、その結果を報告している。							
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度	
	検討会等の報告書数	検討会等の報告書数	実績	本	5	2	1	27
			目標値	-	-	-	-	1
達成度			%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	検討会開催回数	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
			活動実績	回	46	31	12	
			当初見込み	回	31	24	14	12
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	臨床修練許可件数(臨床修練医、臨床修練指導医、臨床修練歯科医、臨床修練指導歯科医)	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
			活動実績	件	144	166	134	
			当初見込み	件	75	133	160	120

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	再教育研修開催回数							
	活動実績	回	1	2	2			
		当初見込み	回	2	3	2	2	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト=X/Y							
			単位当たりコスト	千円	847	581	833	2,500
			計算式	X/Y	39,000/46	18,000/31	10,000/12	30,000/12
平成27・28年度予算内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	15	15	<p>看護職員需給見通し検討会費における就業状況実態調査(概ね5年ごとに策定)について、平成30年度からの医療計画との整合性を図る等の観点から策定方法等を変更することとなった。</p> <p>これに伴い、当初は平成26年度に実施予定であったところ、平成28年度実施予定に変更され、27年度予算にはない保健福祉調査委託費が計上されたもの。</p>				
	職員旅費	0	1					
	委員等旅費	9	9					
	庁費	6	6					
	保健福祉調査委託費	-	87					
計	30	118						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	医師臨床研修制度やチーム医療等に関して検討を行うことは、質の高い医療サービスを提供するために必要な事業である。また、国全体で議論の必要があるため、国費を投入すべき。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国全体で議論の必要があるため、国で実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	医師臨床研修制度やチーム医療等に関して検討を行うことは、質の高い医療サービスを提供するために必要な事業であり、優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	検討会等に係る謝金及び交通費は厚生労働省の定めに沿って支出されており、適正である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に則したもののみに支出を行っている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		△	看護職員需給見通し検討会費における就業状況実態調査(87百万円)について、検討会の方針に従い調査が行われなかったことによるもの。(下記「点検結果」参照)	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	事業目的に則したもののみに支出を行っている。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	就業看護職員数は目標値を上回っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	臨床修練許可数や再教育研修など活動実績は概ね見込み通りである。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	<p>・例年、予算額と執行額の乖離の理由を分析し、予算要求に反映するよう取り組んできたところ。</p> <p>・平成26年度予算においては看護職員需給見通し検討会費における就業状況実態調査費用(87百万円)が計上されており、同事業については、これまで概ね5年ごとに策定してきたところであり、策定にあたっては看護職員需給見通しに関する検討会の中で策定方法等を検討していただいた上で、従来通り各都道府県に就業状況実態調査を依頼する予定であった。</p> <p>しかしながら、検討会で検討する中で、今回の需給見通しに関しては平成30年度からの医療計画との整合性を図る等の観点から、従来とは策定方法等を変更することとなり、各都道府県での詳細な調査を行わない方針となった。これにより執行率の大幅な低下が発生した。</p> <p>・引き続き医療従事者の養成・確保等における様々な課題に対し、有識者による十分な議論を経て検討を進めていく必要がある。</p>			
	改善の方向性	<p>・執行においては、引き続き、業務の効率化や職員のコスト意識の向上に努め、更なるコスト削減に取り組むこととしたい。</p> <p>・予算要求に当たっては、新たな政策課題に対する検討に伴うコスト増も勘案し予算額を精査することとしたい。</p>			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
一部改善の内容	平成26年度執行において、看護職員需給見通し検討会費における就業状況実態調査費用(87百万円)を除いても、執行率が低いことから、執行率を踏まえ、予算額を縮減すること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	<p>検討会は議論の進行状況によって回数に変動が生じるため、見込みを下回ったものと思われる。</p> <p>ご指摘の看護職員需給を除いた予算については、平成28年度新規事項として「審美歯科等の医療安全のあり方に関する検討会」(近年のインプラント等の保険外歯科診療への社会的ニーズの高まりを受け、それらに関する患者への情報提供のあり方等を検討するため設立するもの)を要求しており、これを含めた要求額は平成27年度から微増しているが、同検討会を除いた既存の事項については、平成27年度から▲1,494千円の縮減がなされている。</p> <p>引き続き、過年度の執行内容とともに、新たな政策課題に対する検討に伴うコスト増も勘案し予算額を精査することとしたい。</p>				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	88,91	平成23年度	74	平成24年度	53
平成25年度	42	平成26年度	47		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
10百万円

効果的な臨床研修及び医療関係者問題についての検討並びにその他医師等の再教育を行い、質の向上を目的とする。



A 事務費
10百万円

検討会・懇談会委員にかかる謝金及び旅費、会議費等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」に においてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.委員(複数)			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	謝金	検討会出席	5			
	旅費	検討会出席	3			
	計		8	計		0
	B.			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0	
C.			G.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	
D.			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	委員(複数)	検討会出席	8	—	—
2	扶桑速記印刷(株)	議事録作成	0.5	随意契約	—
3	一般財団法人日本航空協会	会議会場貸出及び会議消耗品販売	0.5	随意契約	—
4	(一財)法曹会	会議会場貸出及び会議消耗品販売	0.3	随意契約	—
5	(株)データサービス	歯科医師臨床研修修了者アンケート調査集計等業務	0.3	随意契約	—
6	株式会社ティーケーピー	会議会場貸出	0.2	随意契約	—
7	(福祉)日本盲人職能開発センター 東京ワークショップ	議事録作成	0.2	随意契約	—
8	株式会社サイマル・テクニカルコミュニケーションズ	会議室備品貸出	0.2	随意契約	—
9	株式会社エム・ケイ・ワイ・アソシエイツ	翻訳業務	0.1	随意契約	—
10	東海フーズ(株)	会議消耗品販売	0	随意契約	—